



創立九十周年記念運動会

令和2年9月26日(土)・29日(火)

今年の運動会は、天候の都合で二日間にわたって行いました。児童は全員、九十周年実行委員会とPTAから送られたTシャツを着て嬉しそうでした。

(右の画像のTシャツです)



<児童の感想文>

○ぼくはきょう、かけっこをしました。おかあさんたちがいっぱいいてちょっときんちょうしました。4いだったのですが、いきもちでした。おともだちがはくしゅでおうえんしてくれていました。いっしょうけんめいにはしたので、いきもちになりました。

○わたしは「やってみよう」でうでをぴんとのぼしました。れんしゅうのときもがんばっていました。おかあさんがみてうれしかったです。「やってみよう」のときかえたら「やってみようのおどり、すごいじょうず。」って、いわれるかもしれません。

○わたしは、「やってみよう」をがんばりました。まいにちおうちで、れんしゅうしていたからです。ままとばがいつも「じょうず」って言って、うれしくてたのしかったです。てをぴんとのぼして、かっこよくきれいにおどれました。またやりたいです。

○「いつもとちがった運動会」今年の運動会はいつもと違う運動会でした。最上級生としての役目を果たせたと思いました。校旗は軽い方だと油断していたら信じられない重さで驚きました。係活動では、次が鼓笛なのに点数表を上を持って行ったりして、最上級生は毎年このようなことを続けていたと考えると、とても大変なことだと思いました。百メートル走では雨が降っていて思うようには走れませんでした。しかし私は「勝つ」ということでなく「楽しむ」ことが出来てい



ご多用の中、役員のみなさまが検温・消毒等、様々なお仕事を手伝ってくださいました。ありがとうございます。



ば勝敗にはこだわっていませんでした。南中ソーランでは自分が思うように演技をすることが出来て良かったです。運動会が終わった後、片づけをするときに、クラス全員で協力してやったので団結力が深まって良かったです。小学校最後の運動会を悔いの残らないものに出て良かったです。

○「全力で取り組む」5年生を引っ張ることや自分たちの表現など手を抜いてしまうと、そこだけじゃなく全体がくずれてしまうことが分かりました。みんなが一つにならないと作品が完成しないからその大切さも身にしみて分かりました。鼓笛、ソーラン、名人種目、審判、全て練習が大事で、練習がないと本番でミスをしてしまうし、練習で完璧だったら本番も上手いく、ということも重要なことを学びました。今年の運動会は例年と違ったけれど勝ち負け関係なくとても楽しい運動会でした。低学年の時は、勝つことにこだわったけれど、今年ではできたことがとても嬉しかったです。